

科目名	学校教育心理学特論																																																	
科目属性	専門科目 A 群																																																	
担当教員	松浦 均																																																	
単位数	2 単位 (SC 0.25 単位)																																																	
【授業の目的・ねらい】 本授業は、学校に関する子どもの社会性の発達、とくに自己と他者の関係性に関する発達に関係する基本的概念について理解を深めることを目的とする。また、学校現場とくに学級集団における社会心理学的な問題や課題について生じる様々な課題について理解を深めていく。 授業の到達目標は次の通りになる。 【授業の概要】 授業の到達目標に記載されたテーマに沿って、各回の授業内容を学習していく。具体的には次の（１）～（５）を行っていく。 （１）授業計画に沿ってテキストの各章・節の内容を熟読し、理解する。 （２）関連する文献や参考資料を検索し、ダウンロードして読み、知識を広げる。 （３）課題をレポートにまとめ、教員からのフィードバックによって、理解を深める。 （４）スクーリングでは、最近の学校教育に関するトピックについて受講者と議論をしながら、理解を深める。 （５）科目修得試験では、教科書、レポート、スクーリングでの学習を総合した知識を問う問題に答える。 【授業の到達目標】 「学校教育心理学特論」では、子どもの社会性の発達、学級における対人関係、人間関係の在り方、社会と学校との関係等に焦点を当て、社会心理学的知見にもとづく考え方を理解し、学校場面での問題や課題解決に資する知識を修得する。 授業の主なテーマと下位の目的は次のようなものである。 1. 子どもの社会性の発達過程に関して、授業で取り上げる一連の基本的な概念を理解し、多様な視点から子どもの発達を見ることができるようになること。 2. 学校現場における諸課題について、とくに社会心理学的知見からのアプローチについて理解できるようになること。 3. 文献や先行研究をレビューしながら、過去から現代までの研究の流れを理解し、また隣接領域との関係性を確認して自身の研究がどこに位置づけられるのか把握できるようになること。 4. ここで学修した子どもの発達支援に関する重要な知識を学校現場で生かせるようになること。 5. 学校現場における自身の経験と、心理学的知見との関連を見いだし、理解できるようになること。次世代の子どもたちの成長発達と未来将来に対するコミットメントを持てるようになること。																																																		
【授業計画】 <table><tr><td>第1回</td><td>子どものころを理解するための社会心理学</td><td>テキスト第1章</td><td>自己評価</td></tr><tr><td>第2回</td><td>子どものころを理解するための社会心理学</td><td>テキスト第2章</td><td>原因帰属</td></tr><tr><td>第3回</td><td>子どものころを理解するための社会心理学</td><td>テキスト第3章</td><td>社会的促進</td></tr><tr><td>第4回</td><td>子どものころを理解するための社会心理学</td><td>テキスト第4章</td><td>向社会的行動</td></tr><tr><td>第5回</td><td>子どものころを理解するための社会心理学</td><td>テキスト第5～6章</td><td>攻撃性、社会的スキル</td></tr><tr><td>第6回</td><td>子どものころを理解するための社会心理学</td><td>テキスト第7章</td><td>同調行動</td></tr><tr><td>第7回</td><td>学級づくりに生かす社会心理学</td><td>テキスト第8～9章</td><td>集団意思決定、集団間葛藤</td></tr><tr><td>第8回</td><td>学級づくりに生かす社会心理学</td><td>テキスト第10章</td><td>社会的勢力</td></tr><tr><td>第9回</td><td>学級づくりに生かす社会心理学</td><td>テキスト第11章</td><td>リーダーシップ</td></tr><tr><td>第10回</td><td>学級づくりに生かす社会心理学</td><td>テキスト第12～13章</td><td>軽度発達障害と学級風土、グループ学習</td></tr><tr><td>第11回</td><td>学級づくりに生かす社会心理学</td><td>テキスト第14章</td><td>傍観者効果</td></tr><tr><td>第12回</td><td>学校と社会を結ぶ社会心理学</td><td>テキスト第15章</td><td>集合的有能感</td></tr></table>			第1回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第1章	自己評価	第2回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第2章	原因帰属	第3回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第3章	社会的促進	第4回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第4章	向社会的行動	第5回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第5～6章	攻撃性、社会的スキル	第6回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第7章	同調行動	第7回	学級づくりに生かす社会心理学	テキスト第8～9章	集団意思決定、集団間葛藤	第8回	学級づくりに生かす社会心理学	テキスト第10章	社会的勢力	第9回	学級づくりに生かす社会心理学	テキスト第11章	リーダーシップ	第10回	学級づくりに生かす社会心理学	テキスト第12～13章	軽度発達障害と学級風土、グループ学習	第11回	学級づくりに生かす社会心理学	テキスト第14章	傍観者効果	第12回	学校と社会を結ぶ社会心理学	テキスト第15章	集合的有能感
第1回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第1章	自己評価																																															
第2回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第2章	原因帰属																																															
第3回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第3章	社会的促進																																															
第4回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第4章	向社会的行動																																															
第5回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第5～6章	攻撃性、社会的スキル																																															
第6回	子どものころを理解するための社会心理学	テキスト第7章	同調行動																																															
第7回	学級づくりに生かす社会心理学	テキスト第8～9章	集団意思決定、集団間葛藤																																															
第8回	学級づくりに生かす社会心理学	テキスト第10章	社会的勢力																																															
第9回	学級づくりに生かす社会心理学	テキスト第11章	リーダーシップ																																															
第10回	学級づくりに生かす社会心理学	テキスト第12～13章	軽度発達障害と学級風土、グループ学習																																															
第11回	学級づくりに生かす社会心理学	テキスト第14章	傍観者効果																																															
第12回	学校と社会を結ぶ社会心理学	テキスト第15章	集合的有能感																																															

第13回 学校と社会を結ぶ社会心理学 テキスト第16章 環境配慮行動
第14回 学校と社会を結ぶ社会心理学 テキスト第17章 キャリア教育
第15回：学校と社会を結ぶ社会心理学 テキスト第18章～第19章 災害時の学校の対応、チームによる学校危機マネジメント

○科目修得試験

【評価方法】

スクーリング評価（30％）、レポート評価（30％）、科目修得試験（40％）を総合しての評価となる。

【教科書】

テキスト 吉田俊和・三島浩路・元吉忠寛編『学校で役立つ社会心理学』 2013年 ナカニシヤ出版
ISBN 978-4-7795-0754-0

【参考図書】

＊以下のものは参考書・参考資料の例であって、必ず参照しなければならないわけではない。この他にも自分で必要な文献は検索して学修すること。

1. 林創『子どもの社会的な心の発達』金子書房 2016年 ISBN 9784760824007
2. 清水由紀・林創編『他者とのかかわる心の発達心理学 子ども社会性はどうに育つか』金子書房 2012年 ISBN 9784760828319
3. 日本道徳性心理学会編著『道徳性心理学—道徳教育のための心理学—』北大路書房 1992年 ISBN 4762801712
4. 高木修・竹村和久編『思いやりはどこから来るの？ 利他性の心理と行動』誠信書房 2014年 ISBN 9784414311112
5. 相川充『新版 人づき合いの技術 ソーシャルスキルの心理学』サイエンス社 2009年 ISBN 9784781912332
6. 唐沢かおり『みきわめと対人関係の心理学 なぜ心を読みすぎるのか』東京大学出版会 2017年 ISBN 9784130133104
7. 水野治久監修・永井智・本田真大・飯田敏晴・木村真人編『援助要請と被援助志向性の心理学』金子書房 2017年 ISBN 9784130133104
8. 『教育心理学的研究』『発達心理学的研究』『社会心理学的研究』『心理臨床学的研究』などの学術誌に掲載されている論文。知見としては新しい（最近）の論文を見つけることが望ましいが、その論文の引用文献リストに並んでいる論文もチェックしておくことが研究を進めていくコツの一つである。